

こんにちは!

No.174
令和3年11月1日

しばた議会です

★ 令和2年度過去最高の決算額
★ 総合体育館をどう考える



「議会ネット中継」への
二次元コード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。

一般会計の決算額
過去最高額

210億4,771万円



町の決算を家計にたとえてみました



はなみちゃん

家の家計簿

収入（歳入）

支出（歳出）

収入項目	令和2年度	令和元年度
基本給与（町税）	146万円	↓148万円
パート収入 （分担金・負担金・使用料など）	23万円	→23万円
貯金の引出し （繰入金）	21万円	↑17万円
昨年からの繰越 （繰越金）	11万円	↑3万円
親からの仕送り （地方交付税）	91万円	↓94万円
親からの特別な仕送り （国・県支出金）	289万円	↑129万円
銀行からの借入れ （町債）	83万円	↑65万円
友人からのご祝儀 （寄附金）	57万円	↑23万円
合計 （総額216億6,102万円）	721万円	↑502万円 （総額150億6,873万円）

支出項目	令和2年度	令和元年度
食費（人件費）	85万円	↑72万円
医療費（扶助費）	65万円	↑58万円
水道光熱費、日用品の購入 （物件費）	84万円	→84万円
子どもの学費・仕送り （補助費、繰出金）	261万円	↑118万円
家の増改築 （普通建設費、災害復旧費）	112万円	↑80万円
家電、車の修理 （維持補修費）	7万円	↑3万円
会社への出資 （投資、出資、貸付金）	13万円	↑9万円
ローン返済（公債費）	43万円	↑42万円
貯金など（積立金）	32万円	↑25万円
合計 （総額210億4,771万円）	702万円	↑491万円 （総額147億3,745万円）

9月会議は、9月6日から22日までの日程で開催されました。令和2年度会計決算では、3人の議員が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査しました。その後ワールドカフェ、分科会、委員間討議を経て、3項目を提言しました。全ての決算は、全会一致で認定しました。

※町の財政総額を3,000で割ったものになります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に振り回された1年となりました。さて、令和2年度決算は、一般会計歳入216億6千102万円で、歳出210億4千771万円となり、過去最高額の決算額となりました。

はなみちゃん家の家計簿をのぞいてみると、年収が昨年より219万円アップしています。これは特別定額給付金事業や新型コロナウイルス感染症対応関連事業により大きく上回ったためです。さらに、ふるさと柴田応援寄附金額が昨年度より増え、17億円を超える寄附をいただいたことも大きな要因となっています。これはシティブロモーションを積極的に行った結果です。

支出では、雨水対策や排水ポンプ車の購入、また子どもたちの教育環境の整備にも力を入れました。各分野においても一定の成果を上げています。

今後とも、将来を見据えた財政規律と健全性を確保した町政運営に取り組むことが必要です。

令和2年度 決算

コロナ感染対策に追われた1年

令和2年度 主な事業



新型コロナウイルス感染症対策事業
(感染症対応地方創生臨時交付金含む)
交付額 国県支出金
44億8,251万円
一般財源 (町負担分)
6,111万円

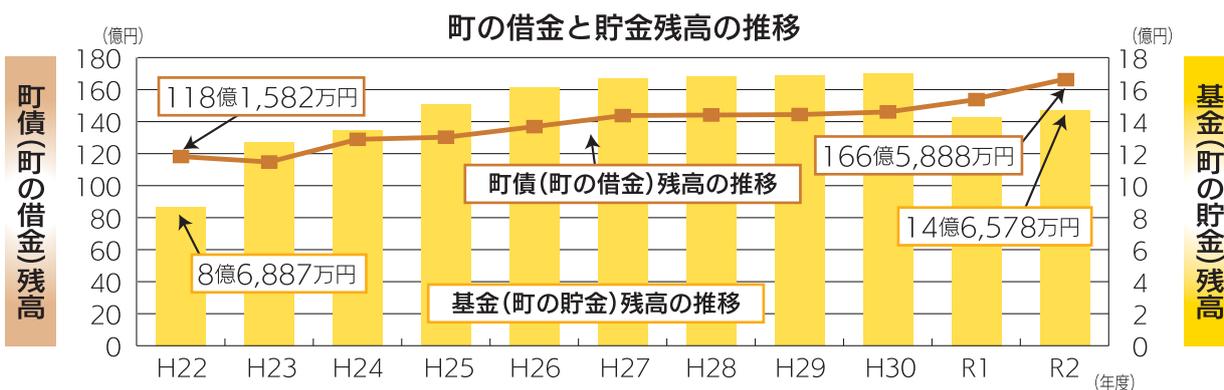


防災対策関連事業
事業費
11億5,132万円



**庁舎・保健センター
耐震補強等事業**
事業費 4億2,339万円

ふるさと柴田応援寄附金
寄附額 17億85万円
過去最高



※町債残高は、一般会計分(165億6,048万円)と土地取得特別会計(9,840万円)の合計です。
※基金残高は、財政調整基金と町債等管理基金の合計です。

監査意見書

代表監査委員 大宮正博

監査委員 森 裕樹

令和2年度の各種会計の決算を審査した。いずれも正確で、関係基金の運用状況も適正に運用されていることを確認した。

なお、次の事項について留意していただきたい。

更なる行財政改革を
少子高齢化対策事業
費や公共施設整備・維持管理費の支出増加に伴い、厳しい財政運営が懸念されるため、事業の選別及び適正な事業規模をしっかりと精査すること。

町債発行の抑制を

繰越事業に係る多額の町債発行が見込まれるため、町債発行額の抑制に努めること。

公共下水道事業について

長期的な建設計画と財政計画のもと健全経営に努めること。

令和2年度決算について問う

総 括 質 疑



平間奈緒美 議員

シティプロモーションは

問 具体的な拡大・強化策は。

答 船岡城址公園山頂展望デッキ設置や園路整備、太陽の村冒険遊び場キッズバイクパークの施設整備や駐車場と広場のトイレ改修などを実施した。また、首都圏への新聞広告の掲載など「花のまち柴田」をテーマにプロモーション活動を積極的に展開した結果、令和2年度のふるさと納税の寄附件数が前年の約2.3倍になるなど、ふるさと納税を通じて関係人口の拡大につながった。

空き家空き地対策は

問 空き家空き地対策の具体的な取り組みは。

答 行政区長に対象物件の抽出調査を依頼し、所有者、納税管理者などの確認を経て調査リストを作成。その後、防災、防犯、公衆衛生の観点から現地調査を行った。

今後は、調査リストをもとに経過観察を続け、改善の様子なども記録。また毎年度調査を実施しながら、対象物件の更新をしていく。

財政状況は

問 令和2年度一般会計の決算額が過去最高となった要因は。

答 歳入歳出とも200億円を超えた。特別定額給付金事業37億8千万円、新型コロナウイルス感染症対応事業約6億円、小中学校大規模改造事業14億8千万円、庁舎・保健センター耐震補強等事業約4億2千万円などの大型事業が要因。

問 当初予算の段階で、各課からの要求額と歳入見込み額との差額が19億円を超えていた。実質単年度収支の大幅な黒字により、各課の要求にどの程度応えるのか。

答 予算要求があったが、精査のうえ補正予算で措置している。

問 積立金と町債のバランスに留意した財政運営とは。

答 25億円超の起債となったが、財政措置のある起債により、後年度の負担を抑制すること。確実な歳入確保や効率的な予算執行により、確実に基金を増やしていくこと。



白内恵美子 議員

臨時財政対策債に頼りすぎでは

問 令和2年度の町債残高は166億5千800万円で前町長時より多い。

答 国が地方交付税の配分方法の一部を、臨時財政対策債への起債に変更したことが要因。

問 臨時財政対策債の償還額分は後年に交付税措置されるとの説明だった。しかし、平成30年度の交付税額は、この制度が始まった平成13年度に比べると減額となっている。町の運営を支える部分が減額されているのでは。

答 交付税算定のための基準財政需要額は年々増加しているため、その心配はない。なお、地方交付税は国の財政事情などで毎年変動する。

町債償還額の自主規制は

問 15億円に規制している償還額は、平成18年当時の経験則と思う。人口などの社会環境が変化しており、過去の経験則は危険では。

答 再び財政再建に陥らないために目安として設定した。町債発行には過度に依存せず、ふるさと納税などでの財源確保に努めている。



秋本 好則 議員

みんなの税金は

ちゃんと使われていますか？

一番人気の牛タン



質疑 町の財政は、ふるさと納税に頼るところが大きい。前年度並みの寄附だったらという想定での予算執行はしていないのか。

財政課

ふるさと納税が決算に与える影響は

歳入

答弁 ふるさと柴田応援基金には、寄附金から返礼品などの経費を差し引いた金額を積み立てている。この基金は、翌年度に有効活用されるので、寄附金を当てにして予算執行している訳ではない。



質疑 屋内テント800張りの各避難所の内訳は。

総務課

災害避難所への屋内用テントの配備は

歳出

答弁 災害避難所の衛生環境を保つため、町内9カ所に配備した。農村環境改善センター60張り、榎木生涯学習センター72張り、榎木小学校52張り、船迫生涯学習センター80張り、柴田高校116張り、船岡体育館204張り、船岡中学校124張り、船岡生涯学習センター60張り、西住公民館32張りとなっている。

総務課

防火水槽が新設されたのか

質疑 防火水槽が16カ所と、前年度から34カ所増加している。その理由は、**答弁** 従来から町では、公設・私設の水槽を確認していた。消防署が掌握

していた工場などの中にある私設の防火水槽を新たに加えたため増加した。新設ではない。



コロナからの感染とプライバシーを守ります

総務課

※SP1方式の職員採用試験

質疑 令和2年度の職員採用の応募状況は。

答弁 上級と中級については、SP1を採用したことにより全国各地から120人ほどの応募があった。多様な人材を採用する機会としては良い方法なので、今後もSP1を通じて採用を進めていきたい。ただし、初級試験については、町村会主催の筆記試験を採用していく。



新たな採用試験が加わりました

※SP1（総合適性検査）＝一般社会人として広く必要とされる資質（性格・能力）を測定する適性検査。

税務課

税金滞納

質疑 仙南地域広域行政事務組合滞納整理課への滞納者移管に際し、金額などの基準はあるのか。

答弁 金額での基準はない。次の3つの基準がある。①悪質で常習的な滞納者であること、②差押え可能な財産を有していること、③滞納者の居住

所、所在が明らかであること。

質疑 回収した金額により、仙南事務組合への負担金は変わるのか。

答弁 事務経費などを加えたものを組合で算定し、それを移管割合と人口割合で負担金を支払う。

まちづくり政策課

防犯灯の電気料

質疑 防犯灯に係る光熱水費が前年よりも約24万円減っている。その理由は。

答弁 電気料の単価が下がったことと、照明のLED化により電力使用量が少なくなったことが要因として考えられる。

町民環境課

公害苦情は

質疑 公害対策事業で苦情その他が82件で一番多い。内容は。

答弁 9割が雑草繁茂による苦情。内容は、害虫が発生する、交通標識が見えにくいなど。

質疑 地域から苦情が出たときの対応は。

答弁 苦情があった場合は、職員が現況を確認する。所有者、管理者を特定し、改善依頼の通知を出している。

教育総務課

GIGAスクール

質疑 児童生徒にパソコンを配布した。何年使用する見込みか。

答弁 約5年を見込んでいる。今回購入したのはChromeBook。アプリなどの管理をクラウド上でを行い、OSに影響がないようなパソコンを選んでいる。

質疑 ルーター500台の契約内容は。

答弁 ルーターは、3ギガぐらいで、ドコモ、AU、ソフトバンクなど大手キャリアのメーカーが使えるようにし、通信料は町で負担している。月に約1千円ぐらいの契約。

町民環境課

空き家対策

質疑 空き家対策について、空き家、空き地の件数などの調査概要は。

答弁 環境、景観など、問題があると思われるところに視点を絞って調査対応している。

調査は、行政区長に対象となる物件の抽出を依頼。その後、職員で現地確認する。

令和2年度については、

その調査の時期と福島沖地震の災害対応の時期が重なったため、現地調査できなかった。今後対象物件の更新を続けていく。

質疑 結果などは、行政区長に連絡がいくのか。

答弁 11月の調査依頼時に前年の調査結果も一緒に送付している。

生涯学習課

成人式をライブ配信

質疑 コロナ禍の三密を避けるための新しい取り組みとして、式典をライブ配信した。視聴者数の状況は。

答弁 式典を開催した時間帯で、200人を超える方の視聴を確認している。



子どもたちも使っているパソコン



成人式ライブ配信中

商工
観光課

仙台南内でプロモーション活動

質疑 観光物産広告宣伝・情報発信業務を、株式会社ユーメディアに委託している。本町の情報を発信し、勾当台公園にある「Route 227's CafeT.O.H.O.K.U」で、町の特産品やPRのプロモーション活動を行ったとある。具体的な内容は。

答弁 この施設は、勾当台公園の市民広場側に常設されている店舗。東北の227市町村の魅力を発信

し、交流人口の拡大をコンセプトに整備された施設であり、仮設ではない。令和2年12月19日から12月31日までの期間、本町の観光と特産品のPRを実施した。具体的には、雨乞の柚子、ユズポン酢、雨乞の極の販売のほか、雨乞の柚子をつかったランチ、桜をモチーフにしたディナー。なお、店内では本町のPR動画を流していた。



すてきなイベントもありました。次回もお楽しみに



健康
推進課

しばた健康づくりポイント事業は

質疑 ほかの自治体では成果を上げているところもある。この事業をどう捉えているか。

答弁 昨年度はコロナの関係で、事業の縮小や中止などが影響している。ポイント達成時には図書カードと交換している。

令和3年度からは、地元のリトルトカリーも選べるようになった。



選べる記念品

教育
総務課

給食センターの施設状況は

質疑 令和2年度の改修状況で、設備の修繕や、改修工事など、どこまで終了したのか。

答弁 給湯循環ポンプ交換、調理器修繕、雨樋修繕などのほか、蒸気釜の配管蒸気漏れの修繕。さらに、ボイラー室内の給湯配管修繕やボイラー室出入口扉開閉の修繕などを実施した。予定していた調理室の床工事は、令和3年度に繰越している。

子ども
家庭課

子ども医療費助成金の減

質疑 年々、助成金額が減少している。理由は。

答弁 対象人数が、平成30年度では4千756人、令和2年度は4千561人に減った。また、新型コロナ

ウイルスへの感染防止対策で、医療機関での診療控えの傾向が見られ、全体の医療費の額が減り、助成金額も減少した。

農政課

農業の担い手育成支援は

質疑 農業の担い手の育成が促進され、新規就農

者の営農相談を受けている。担い手は増えたのか。

答弁 令和2年度から農業を始めた人は3人で、その人への相談支援を行った。そのほかにも、新しく農業をやりたいとの相談があれば受け付けている。



若い力で柴田の農業を守りたい

都市
建設課

しゅんせつ事業の進捗は

質疑 緊急浚渫推進事業の進捗状況は、全体計画の4・8割とのこと。残り95・2割は、今後どのように行うのか。

答弁 令和2年度で、約1万9千立方を調査委託した。令和3年度から6年度まで残りをしっかりと行う。

を徹底検証

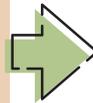


令和2年度の各種決算は決算審査特別委員会に付託され、審査が行われました。特別委員会では担当課など執行部への質疑だけでなく、決算や各種事業への意見や課題などを出し合い整理するため、ワールドカフェ形式での委員間討議を実施し意見を交わしました。

出された意見や課題はさらに討議によって精査され、最終的に全会一致となった3項目を決算審査認定に当たっての提言事項として、9月会議最終日に町長へ提出しました

ステップ1 委員間討議(特別委員全員)

令和2年度の決算について
 「概ね満足していること、十分な成果があったこと」
 「議論(検証)の余地があること」
 「問題があること、納得できないこと」を話し合います。



ステップ2 決算審査特別委員会 質疑

各議員が決算書などを精査しての疑問点、ワールドカフェや事前に行われた常任委員会での委員間討議で出されたことを担当課ごとに3日間かけて質疑します。
 質疑の概要はP5~P7で取り上げています。



ステップ3 委員間討議(特別委員全員)

質疑の内容や、各種事業の成果や予算執行の実績を踏まえて
 「足りない視点、施策、事業」
 「さらに進めた方が良い施策」
 「やり方を見直した方が良い施策、事業」
 「やらなくても良い施策、事業」のテーマで話し合います。

水害時の避難所が少ないのでは？

さらなるふるさと納税を増やすプロモーション活動を

移住・定住の対策を

地域おこし協力隊への支援を



不登校の児童生徒への対応強化を

仙台大学との連携の拡大・充実を

各種イベントなどのPRが不足しているのでは？

通学路の安全対策を



ステップ4 委員間討議(常任委員会ごとの分科会)

ワールドカフェで出された意見を、分科会(常任委員会)が担当する項目に分類、整理します。その後、出された意見の本質を改めて討議し、議論を深めながら提言したい項目を絞ります。



特集
議会改革!!

～検証結果を令和4年度予算へ向けた提言に盛り込む～

令和2年度決算

ステップ
5

委員間討議(特別委員全員)

分科会の討議内容(提言したい項目など)が委員全員に共有され、委員間で質疑を行います。その後、質疑の内容などを踏まえて分科会で話し合い、再度、委員全員に共有されます。最後に、各分科会で出された提言は提言事項としてまとめられ、特別委員全員の一致をもって確定されます。なお、提言書は決算審査特別委員会委員長から議長へ提出され、議長から町長に手渡されました。

政策サイクル

次は「予算」

今回町長へ提出した提言の内容が、令和4年度予算や政策に盛り込まれているかななどを注視していきます。

議会からの提言です



高橋議長から滝口町長へ

令和2年度各種決算の認定に当たっての提言事項

1. 災害時の避難の在り方について

- コロナ禍の影響で既存の避難所の収容人数は制限せざるを得ない。今後は、早い段階で避難所ありきの避難ではなく、垂直避難や親類宅への避難など、自らあらかじめの避難方法・避難場所を決めておくことの重要性を周知すること。
- そのためには平時から各家庭において、マイタイムラインの作成が必要である。しかし、マイタイムラインについては理解が不十分であることも考えられる。そこで町として自主防災組織と協力し、マイタイムライン作成の講習会を開催すること。

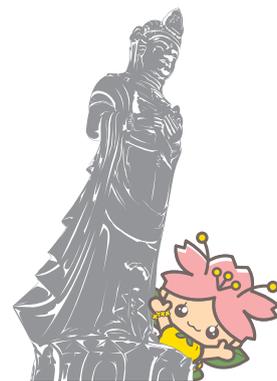
2. 観光資源について

柴田の桜は、観光資源として重要な意味を持っており「しばたの桜 100年計画」にのっとり管理されている。しかし、樹齢100年を超え樹勢が衰えている木が多数あることから、次の事項について検討するよう要望する。

- 船岡城址公園の桜は、植え替えを含め延命化を図ること。
- 白石川堤の桜は、植え替えができないことから、延命策を講ずること。それができない場合は、代替対策を検討すること。

3. 新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス対策については、国の交付金等も活用し、町を挙げての支援が行われてきたが、終わりの見えない状況になっていることから、店舗や業者等への支援は、飲食店に限らず町独自の支援を続けること。



充実した教育を後押し

小中学生 1 人 1 台のコンピュータ整備や校舎改修完了は評価できる。

石森 靖明 議員



安全・安心な学校整備

各学校の校舎、体育館、トイレ改修及びプール耐震補強工事が完了。

伊東 潤 議員



雨水対策を評価

防災・雨水・水害対策に有効な事業を実施している。

吉田 清 議員



全体的に緊縮財政

コロナ禍だったこともあり、無駄の少ない内容だと感じた。

小田部峰之 議員



子どもたちの未来を拓く

子育てアプリの導入や小中学校の校舎・体育館等の整備を実施。

加藤 滋 議員



教育環境の整備を評価

いじめ・不登校対策に力を注いだ町教育行政を評価する。

安藤 義憲 議員



コロナに負けるな

国の応援資金を活用した施設の改修と観光の広報が進んだ。

佐久間光洋 議員



防災・減災対策を推進

デジタル防災行政無線の整備、排水ポンプ車の購入など対応した。

平間 幸弘 議員



評価の凡例

小見出し

評価の理由

〇〇 議員



年度
計決算

上程により、主要な施策の成果と3日間の質疑や委員間討議などを質疑や討議を重ねて結論を出した算について各議員の評価を掲載し

議員の
評価



コロナ対策に評価

新型コロナ対策臨時交付金を活用し、様々な事業展開ができた。

平間奈緒美 議員



予防のために頑張った

感染症対策に全力で取り組んだこと、水害対策の準備が進んだこと。

白内恵美子 議員



コロナ禍の軌跡

コロナ禍の中、町民のいのちと暮らしを守るための支援を評価。

広沢 真 議員



声が生きた政策の実施

雨水対策で大型排水ポンプ車の購入や桜の小径のトイレ設置など。

佐々木裕子 議員



財政収支が大幅黒字に

学校整備などの大型事業を進めつつ、貯金も増え財政健全化も進んだ。

大坂 三男 議員



決算上の不備はない

コロナ対応に終始。町債残高増と臨財債過信が気になる。

秋本 好則 議員



有利な交付金を利用

教育施設の大規模改修や一人一台のパソコンが導入できた。

吉田 和夫 議員



コロナ対策を最優先

交付金を活用した感染防止や地域経済対応の事業を実施した。

桜場 政行 議員

令和2 一般会

令和2年度各種決算認定の議案
予算執行の実績報告などを基に、
実施しました。各議員は、多くの
ものです。ここでは、一般会計決
ています。

全員賛成

※なお、議長（高橋たい子）と議会選出監査委員（森裕樹）は決算審査特別委員ではないので、掲載していません。

耐震補強工事費 2,213万円の増

修繕箇所と追加工事

今回の請負変更契約は、工事に伴う足場設置後の詳細調査により、外壁の補修工事が増えたこと、庁舎3階執務エリア、5階議場の床の仕様を変更するものです。

9月会議では、専決処分2件、人事案件3件、条例改正3件、工事請負契約件3件のほか、令和3年度一般会計を含む各種会計の補正が審議され、いずれも原案のとおり全会一致で同意、可決しました。一般質問は11人の議員が質問しましたが、今回もコロナ感染対策として書面での実施となりました。



足場設置で新たな修繕箇所を発見

外壁補修の工事内容は

質疑 外壁の補修でモルタルの浮き、欠損箇所、鉄筋の爆裂箇所が増えていく。どのような工事になるのか。

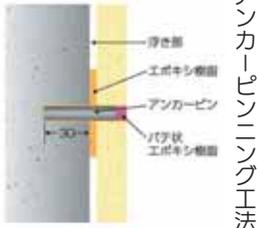
答弁 モルタルの浮きは、*アンカーピンニング工法で浮き部分にエポキシ樹脂を注入する。欠損箇所は、ポリマーセメントを用いて補修。鉄筋の爆裂箇所は、鉄筋のさびを落としてさび止めを行い、その後エポキシ樹脂、モルタルで補修する。

工事の種類	当初の仕様	変更後の仕様
内外壁クラック補修	1,895.6m	1,083.6m
外壁モルタル浮き補修	0.0㎡	367.8㎡
外壁欠損部補修	1カ所	136カ所
外壁鉄筋爆裂補修	8カ所	542カ所
3階執務エリア床改修	塩ビタイル	OAフロア+タイルカーペット
5階議場床改修	-	段差解消の上、タイルカーペット

改修後の定期点検は

質疑 建物自体は老朽化している。鉄筋部分の経年劣化は進むので、定期的な点検が必要では。

答弁 建築基準法の*12条点検で、定期的な点検を行っていく。
*12条点検は、不特定多数の人が利用する建物を建築基準法に基づき定期的な点検を行うもの。
*アンカーピンニング工法



議案第17号 令和3年度 町道富沢16号線 道路改良工事請負契約

長期工事が費用増に

質疑 長期にわたる細切れの工事が続く。共通仮設費が全体の工事費を押し上げているのでは。

答弁 少額であるが、共通仮設費は上がっている。国には強く要望しており、来年度も2億円を概算要求している。



完成まで補修を繰り返す現地

1億3,640万円

議案第18号 二本杉公園整備工事請負契約

住民の意見の反映は

質疑 遊び、健康、広場などの区割りやプランニングは都市建設課で行ったのか。

答弁 昨年度実施設計を行う際に住民とのワークショップを行った。区割りや遊具の種類、防犯対策、照明設置など住民の意見を基に実施設計を行っている。



地域住民の憩いの場に（非常時には車の避難場所にもなる）

6,545万円

9月
会議

議案第16号

庁舎・保健センター耐震補強等工事

安全を求めて 増えた

来年には雨にも強く、管理も簡単なオムニコートへ（船岡中学校テニスコート）



今年度、国の補助を受け、船岡・船迫中学校の校庭整備を行っています。テニスコートは補助対象外です。そこで、今年度一般財源で実施設計を行い、来年度工事を実施します。

町内3中学校の
テニスコート改修委託

769万円

議案第20号
一般会計補正

一般会計の補正による主な内容と予算

主な事業名	予算額
阿武隈急行定時路線・生活維持支援金	2,000万円
槻木保育所用地購入費	2,000万円
保育所情報通信ネットワーク整備工事	483万円
地域資源を活用した観光振興事業（スロープカーイルミネーション）	400万円
船岡城址公園照明整備工事	495万円
旧槻木用水路切梁設置工事	129万円
下名生新前田地区雨水対策工事	1,036万円



安全にきれいに

経年劣化で擬木にずれが生じました。キッズバイクパークのオープン以降、多くの利用者が訪れます。今回、利用者の安全確保のため、痛みの激しい擬木を交換し、階段をコンクリート舗装します。頂上の平らな部分はアスファルト舗装にします。

太陽の村虹の路を改修

680万円



利用しやすくなりますね

議案第26号 一般会計補正

東船岡駅
トイレ改修

2,850万円

老朽化したトイレを鉄骨式の組み立てトイレに改修します。トイレは、洋式とし、手洗いも自動水栓となります。

排水ポンプ車を有効に
質疑 東船迫地区
排水管設置実施設計委託料の内容は。
答弁 福祉センターの脇の地区外排水路に6機の排水ポンプを入れ、直接排水管に接続し白石川に排出する仕組みを計画する。

83万円

7月
会議

2月13日発生福島県沖地震

災害復旧工事費を補正

船岡駅コミュニティプラザ



災害直後



復旧工事中

一般会計補正額
5,273万円の増

7月会議が7月20日に開催され、一般会計補正予算案1件が審議され全会一致で可決しました。補正予算の本身は、新型コロナウイルス予防接種事業に係る人件費増額のほか、2月に発生した地震による災害復旧工事費です。

令和3年度補正予算（9月会議）

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	12億1,027万円	154億1,934万円
特別会計		
国民健康保険事業	3,635万円	38億525万円
介護保険	2億2,275万円	32億9,216万円
後期高齢者医療	128万円	4億2,676万円

人事案件

○人権擁護委員の推薦に同意

菅野 敏明氏（再任）
（槻木字焼壇）

佐藤 峰子氏（再任）
（船岡字新田）

○教育委員会委員の任命に同意

日下 輝美氏（再任）
（船岡土手内）

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（7月・9月、決算審査特別委員会）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 隆之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子
本7月 会議	補正予算	7.20	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 本会議	町政報告、議案説明、議案採決（人事案件）、 一般質問	9.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案審議（条例、補正予算等）	9.9	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度各種決算上程・総括質疑	9.10	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算 審査 特別 委員会	正副委員長の互選、委員間討議	9.10	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査	9.13	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査	9.14	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査	9.15	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査（委員間討議）	9.16	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査（委員間討議）	9.17	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和2年度決算認定審査（委員間討議）	9.21	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
令和2年度決算認定審査（委員間討議）、まとめ	9.22	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	
本9月 会議	令和2年度決算認定採決、追加議案、意見書案	9.22	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「△」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。 ※議長は決算審査特別委員にはならない。「監」は監査委員として出席。

審 議 結 果	議案第11号（13ページに掲載）	7.20	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	諮問第1号	9.6	18	17	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	諮問第2号	9.6	18	17	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第12号	9.6	18	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第13号～第25号	9.9	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第1号～第7号	9.22	18	17	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第26号（13ページに掲載）	9.22	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	意見書案第2号	9.22	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため。

○議案等の内容

7月会議			
議案第11号	令和3年度柴田町一般会計補正予算		
9月会議			
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	議案第25号	令和3年度柴田町下水道事業会計補正予算
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	認定第1号	令和2年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定
議案第12号	教育委員会委員の任命	認定第2号	令和2年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
議案第13号	柴田町地区集会所条例の一部改正	認定第3号	令和2年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
議案第14号	柴田町町税条例の一部改正	認定第4号	令和2年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
議案第15号	柴田町印鑑の登録及び証明に関する条例及び柴田町手数料条例の一部改正	認定第5号	令和2年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
議案第16号	令和2年度庁舎・保健センター耐震補強等工事（建築工事）請負変更契約	認定第6号	令和2年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定
議案第17号	令和3年度町道富沢16号線道路改良工事請負契約	認定第7号	令和2年度柴田町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定
議案第18号	令和3年度二本杉町営住宅建替事業二本杉公園整備工事請負契約	議案第26号	令和3年度柴田町一般会計補正予算
議案第19号	財産の無償貸付	意見書案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
議案第20号	令和3年度柴田町一般会計補正予算		
議案第21号	令和3年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算		
議案第22号	令和3年度柴田町介護保険特別会計補正予算		
議案第23号	令和3年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算		
議案第24号	令和3年度柴田町水道事業会計補正予算		

議員が聞いた町政への 一般質問

9月会議では、議員18人中11人が質問しました。

吉田 和夫 議員 ワクチン接種スピード感をもって P15

- 避難所の情報発信を早急に
- 特定健診をもっと魅力的に

大坂 三男 議員 消防団員の処遇改善を P18

- 学校でマイタイムラインの学習を
- ふるさと納税寄附金の積極活用を
- 総合体育館建設の進捗状況は

平間奈緒美 議員 新栄通りの桜の管理は P16

加藤 滋 議員 家トレ 30 の有効性は P18

- 防災ラジオの貸与は計画通りか

石森 靖明 議員 あらゆる手段で確実な情報伝達を P16

伊東 潤 議員 マイナンバー制度のリスク管理は P16

平間 幸弘 議員 町道富沢 16 号線の今後の計画は P19

- 上水道の普及状況は

秋本 好則 議員 角田市のように中核病院への足を P17

- 総合体育館建設検討委員会を問う
- 都市計画マスタープランと立地適正化を問う

吉田 清 議員 ペットとの同行避難の対応は P17

小田部峰之 議員 公衆無線 LAN の整備を P17

白内恵美子 議員 財政を考え体育館は規模の縮小を P18

- ヤングケアラー実態調査と支援を
- 流域治水関連法成立後の水害対策
- 男女共同参画プランの推進を

新型コロナウイルス対策に伴う一般質問について
◇9月会議での一般質問の取り扱いは、次のとおりとなりました。

- ・一般質問は、文書で行う。議場での通告書及び答弁書の読み上げはしない。
 - ・答弁に対して質問したい事項があれば、議長あてに文書で通告する。
- (再々質問まで)



1 月末日までは、こちらの二次元コードからご覧になれます。

Q ワクチン接種スピード感をもって

A 11 月までに終了する体制をつくる

吉田 和夫 議員



問 仙台大学での職域接種は、職域接種を断念した後、大学と連携協定を結んでいるスポーツ関連の民間会社から、ワクチンの提供があったことから学生を紹介し接種を進めている。

答 7 月下旬から 64 歳以下の方へワクチン接種が始まった。年齢が若くなるにつれ、前日や当日キャンセルする方が増え、対応に苦慮している。

問 直近の接種状況は。
答 集団接種は、平日が 8 月 23 日から 2 時間あたり 156 人に、日曜日 8 月 29 日から 1 日 390 人に増やした。また、10 月からは夜間接種を毎週金曜日の午後 6 時から午後 8 時まで延べ 6 回実施する。個別接種も町内の医療機関にご協力をいただき、11 月までに希望する方全員にワクチン接種が終了するように体制をさらに強化する。



平間奈緒美
議員

Q 新栄通りの桜の管理は

A 専門業者と相談し育成を図る



元気に育って

問 まちなか景観形成事業で、新栄通りに植栽したヤエベニシダレザクラなどの管理状況は。

答 新栄通線沿線の公共用地、約150区間に、ヤエベニシダレザクラ、レンギョウ、アジサイを植樹した。管理については、業者委託により年3回の草刈や灌水作業、薬剤散布による病害虫駆除を実施した。しかし、土壌に根付くまでには、約1年〜2年程度の時間を要することから、専門業者と相談しながら育成を図っていく。

問 地域との関わりは。

答 一定期間は町で管理することを伝え、根付いたことが確認できれば、行政区がどのくらい維持管理に関わることができるか相談したいと考えている。

問 新栄通りの桜の管理体制は。

答 枯れている、弱っている桜について対応していく。



石森 靖明
議員

Q あらゆる手段で確実な情報伝達を

A 発信媒体を併用して情報提供する

問 7月の台風8号襲来時、自主避難所開設の情報発信の際に、防災行政無線の屋外拡声器が活用されなかったのはなぜか。

答 緊急性が高い状況ではないと判断した。今後はあらゆる機会において活用していく。

問 屋外拡声器の音声は住宅内で聞こえないことも想定される。

答 放送した内容はホームページやメール、LINEなどを併用して町民へ広く情報提供する。

問 情報配信サービス登録者を増やすため「※バンドワゴン効果」の利用など、周知方法工夫を。

答 提案を参考に周知していく。



あらゆる手段で

※バンドワゴン効果とは：他人が指示している物事に対してより一層指示が高くなる心理効果。「他人が持っているので自分も欲しい」と思うこともその一つ。

Q マイナンバー制度のリスク管理は

A セキュリティ対策を万全に行う

伊東 潤
議員



町の交付率 35%

問 本町の情報セキュリティは万全か。

答 研修を行い、個人情報の取り扱いについて、理解の徹底を図る。

問 情報漏えいなど、危険リスクに対する周知徹底が必要では。

答 広報紙などで、取り扱いの注意喚起を図っていく。

問 地方公共団体の情報システム機構の周知について、町ホームページ以外でも必要では。

答 機会あることに広報紙などで機構の業務の情報などを周知していく。

問 本町のマイナンバーカード交付率は県内一位となっている。今後も交付率アップのための取り組みを。

答 令和4年1月からマイナンバーカードの利用でコンビニでの証明書発行が可能となる。所持するメリットを広報紙やホームページで広く周知していく。

Q 角田市のように中核病院への足を

A 実証実験の結果を注視する

秋本 好則
議員



角田市は市内4カ所から中核病院までのタクシーの試験運行を始めた。

問 以前の一般質問で、タクシーの借上げ方式や利用補助券の発行で支援すべきと提案した。その当時、できないとの回答だったが、今でも同じ考えか。

答 他市町の運行状況を鑑み導入は困難と考えるが、角田市の運行継続の判断を一応注視する。

問 中核病院までの足は町民の安全保障で安心感も出る。一歩進んで借上げ方式での導入を。

答 町外の他病院に通いたいという町民との間に不公平も生じることなどからも、導入は困難。

問 補助方法の工夫によりタクシー運行も可能と考える。多少の負担増でも安心と相殺される。

答 安全保障の名のもとに生じる多額の財政負担の是非や公平性の観点からの検討が必要。角田市の実証実験終了を待ちたい。



みやぎ県南中核病院までの要望がある、はなみちゃんGO

Q ペットとの同行避難の対応は

A 避難所の屋外スペースに避難

吉田 清
議員



問 ペットとの同行避難については、2011年の東日本大震災で問題視され、飼い主は避難時にペットと同行することが基本となっている。町の考えは。

答 現在、町の避難所でペットとの同行避難があった場合、他の避難者に迷惑が掛からないよう、ペットは避難所屋外スペースへの避難をお願いしている。

問 同伴避難については大規模水害が発生した場合、困難になることも想定されるが、町の考えは。

答 ペットと同じ室内・空間にいられる同伴避難所については、今後先進事例を参考に検討する。

問 広報啓発活動が必要では。
答 ホームページや広報紙などで周知を考えている。

Q 公衆無線LANの整備を

A 十分な検討が必要

小田部峰之
議員



問 防災拠点や避難所に指定されている各生涯学習センターや公民館、学校には公衆無線LANが必要との住民要望がある。

現在、コロナ禍という非常時だが、だからこそ安心・安全を後押しし、生命と財産を守る体制を一段階引き上げる好機と考える。見解と今後の見通しを伺う。

答 避難所にWiFi環境を整備されれば災害時の情報入手、発信にあたっては非常に有効であると考えているが、整備後の維持費が必要になることや平常時におけるWiFi環境の活用方法など、十分な検討が必要。また、大規模な災害時に、通信事業者が公衆無線LANの無料開放や臨時設置などを行う「ファイブゼロジャパン」サービスが避難所でも実際に活用されている。引き続き、町民への情報発信手段の多重化や通信手段の強化を進める。





白内恵美子
議員

Q 財政を考え体育館は規模の縮小を

A 初めから規模の縮小は考えていない



新体育館建設予定地

問 総合体育館建設について、PPP手法可能性調査が開始されている。町長はPPP導入について以前は否定的な考えだったが、心の变化について伺う。

答 今後税収の伸びが期待できない中で、官民連携事業手法を学ぶ必要性の認識はあった。私の変化ではなく、職員がPPP手法を学び調査検討を重ね、事業ノウハウを蓄積することで、ポジティブな姿勢に変化した。

問 新型コロナウイルス感染症拡大により、今後は国・地方自治体とも財政状況がさらに厳しくなる。体育館は規模を縮小し建設費の抑制を図るべきでは。

答 7年間住民と意見交換し、住民の思いを基本方針や基本設計に反映しており、初めから規模の縮小は考えていない。今後民間事業者の提案を募集し、本町の身の丈に合った最適な規模や運営手法を選択していく。



大坂 三男
議員

Q 消防団員の処遇改善を

A 処遇改善を図っていく



訓練なくして本番なし

問 令和3年4月に消防庁から「消防団員の年額報酬や出動手当の標準額」が示された。柴田町消防団の報酬などの実態は。

答 出動種別によっても違つが、本町の団員報酬や出動手当は標準額を下回っている。今回の消防庁の通知は、地方交付税の算定単価として示されたもので、実際は地域の面積や人口などの諸条件によって調整され交付されている。

問 災害が多発化、激甚化する状況のもとで、消火活動や避難誘導、救助など、地域の安全安心のために貢献していただいている消防団員の労苦に報いるために、団員の処遇改善に取り組むべきでは。

答 今回消防庁から示された「基準」を基に、近隣市町の動向も勘案し、消防団と協議の上、十分な検討を行い、消防団員の処遇改善を図っていく。

Q 家トレ30の有効性は

A 毎日運動する習慣がついた



加藤 滋
議員



運動習慣のきっかけに

問 本企画の反応や事務的な準備のためにも、何人チャレンジしているかの把握が必要では。

答 コロナ禍において不要不急の外出を控え、感染リスクを低減させるため手続きせずに参加できる企画としている。今後、住民の利便性も考え、参加者の把握ができるよう工夫する。

問 昨年の達成者181人をどのよう評価しているか。

答 学生や働く世代の参加が半数近くあった。小学生から高齢者までの方が自発的に健康づくりに取り組むきっかけになったと考える。また、健康づくりポイント事業への参加歴のない方も半数以上おり、保健事業への新規参加者の拡大につながった。

問 参加者の健康づくりへの有効性は確認できているか。

答 昨年は「毎日運動する習慣がついた」、「これからも継続したい」との声が多数寄せられた。

Q 町道富沢 16 号線の今後の計画は

A 側溝整備を優先する

平間 幸弘
議員



一步一步着実に

問 今年度の工事計画は。
答 町道富沢16号線内を横断する五間堀左岸低地排水路の橋梁を撤去、新たにボックスカルバートの設置。道路側溝(718延米)の整備を予定している。

問 次年度以降の工事計画は。
答 事業完成までには、側溝や盛土、道路構造物、舗装など多くの工事が残っている。水稲栽培に影響がないよう側溝整備を優先し、主要地方道巨理村田線の接続部から順に完成に向けて仕上げていきたいと考えている。

問 工事完了年度はいつか。
答 仮に、毎年2億円の事業費が確保できれば、令和6年度の完成が見込まれる。令和3年度の配分でも68・2割であり、配分次第で、完成時期はずれ込む。今後、事業の完成に向け、適正な交付金の配分を国に対し強く要望していく。

ちょっと一息



そもそもな疑問

議会って何?

安心・安全に快適に住みよいまちにするためには、町民との話し合いを進めていくのが理想です。しかし、町民みんなが集まって話し合うのは現実的に不可能です。そこで、選挙で代表を選んで話し合うことにしています。その代表者を「町議会議員」といい、議会の構成員となります。

議会って何?



議員の仕事って?

主な仕事は、町民の皆さんの意見・要望などを聴いて町の仕事に反映させることです。また、議会の中には各分野に分かれての委員会活動もあります。

さらに、予算の使い方がかたよっていないか、必要なところにいきわたっているか、無駄はないかなどのチェックをする大きな役目もあります。

各常任委員会の担当課

総務常任委員会
総務課、財政課、税務課、会計課、まちづくり政策課、町民環境課、槻木事務所
文教厚生常任委員会
教育総務課、生涯学習課、スポーツ振興課、福祉課、健康推進課、子ども家庭課
産業建設常任委員会
都市建設課、上下水道課、商工観光課、農政課、農業委員会
議会広報常任委員会
年4回発行の議会広報紙の作成

委員会って何?

町の事業は数が多い、内容も様々な分野にわたっています。そこで、いくつかの部門に分け、専門的に、能率的に調査したり話し合いをするために設けられています。

柴田町では4つの常任委員会があります。



総務 デマンドタクシーの現状

調査日：令和3年6月17日
6月18日

- 主な調査内容
- ①はなみちゃんGOの現状について
 - ②地域おこし協力隊の活動状況について
 - ③各自主防災組織の現状及び活動状況と自主防災連絡会について

■調査結果

<総務課>

- 防災士や防災指導員の育成については、町として積極的に勧めていることは評価できる。
- 資格取得後のフォローアップなどに不十分な面もあることから、町が主体となる研修や資格者同士の情報交換の機会を検討すること。

<まちづくり政策課>

- デマンド型乗合タクシー事業については、おおむね好評ではあるが今後は、登録者へのアンケート調査を実施し、サービス向上に努めること。
- 地域おこし協力隊の活動を積極的に周知する。



文教厚生 遊具の安全は

調査日：令和3年6月22日
6月23日
8月2日

- 主な調査内容
- ①小中学校遊具などの安全点検状況について
 - ②小中学校通学路（槻木小学校・東船岡小学校）安全点検について
 - ③ICTを活用した授業の実施状況について
 - ④不登校の児童生徒の状況について

■調査結果

<教育総務課>

- サッカーゴールは、転倒防止のため固定金具でしっかりと固定し、痛んだ塗装やゴールネットは早急に修繕すること。
- 藤棚は地域からも親しまれている。今後の修繕にあたっては防腐剤を施した木材で安全な修繕に努めること。
- 遊具などの周辺は、安全利用のために除草を徹底すること。
- 四日市場山根地区からの通学路は、雨の日の水たまりがひどく補修が必要である。
- ICTを活用した授業に当たっては、情報端末のセキュリティ管理を万全に行うこと。



産業建設 桜の管理状況は

調査日：令和3年6月14日
6月15日
7月30日

- 主な調査内容
- ①都市計画マスタープランおよび立地適正化計画について
 - ②水害対策に係る排水設備について
 - ③白石川堤の桜の管理状況について
 - ④町内の事業者の経営状況および課題について

■調査結果

<都市建設課課>

- 都市計画マスタープランは町の将来像を決める計画である。住民説明会では、若い世代の参加者を増やす仕組みを検討すること。
- 古河水門開閉装置改修工事完了は広報部門と連携し周知を検討されたい。
- 白石川堤の桜は100年以上経過した。近い将来、倒木などが懸念されるので対応を検討すること。

<商工観光課>

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金や事業継続支援金については、明確な振込み日の提示に努めていただきたい。



・各常任委員会では、法令に基づき各課の仕事を調査しています。 ・調査結果については一部抜粋をして掲載しています。

令和3年度
議会懇談会
実行委員会報告

2

やってみました!
町民の皆さんと
オンライン懇談会



7月31日(土)午前10時30分から、町民と議会懇談会実行委員会メンバーによるオンライン懇談会を開催しました。とは言え、最初から公募で町民の方々のオンライン参加を募るのはあまりにもハードルが高い。そこで今回は、実行委員の知り合いの方々に声がけし、実施しました。メンバー内で事前に練習を行い、オンライン懇談会に臨みました。

当日は、議長、議会事務局員、委員会メンバー7

人、町民の皆さん7人の計16人で実施しました。順調な滑り出しでしたが、議会事務局側(ホスト)のインターネット環境が突然ダウンし、画面から議長と委員長が消えるハプニングが発生しました。その後、再接続し事なきを得ましたが、懇談会以外でも今後、オンラインでの会議が開催されることを想定し、試行錯誤を重ねて、その都度、改善に努めます。

開催後、今後のオンライン懇談会を開催する場合の留意点をまとめ、次回に生かしていきます。



当日参加したメンバーと懇談会メンバー

- 今後の議会懇談会活動実施予定
- 12月 一般懇談会(オンライン 試行2回目)
 - 1月 柴田高校生徒会役員との懇談会(対面)



3人一組で他の議会感想を共有(ワークショップ)

全国の先進的議会から「学べる」ところは学ぼう(パワフル)「こども議会改革の一助となります」。

今回は北海道芽室町議会のオンラインを活用した小学校PTAや高校生との意見交換会及び議会モニターとのオンライン会議について。岩手県奥州市議会からは、議会基本条例の評価手法や、政策提言に至るまでの調査検討手法などを参考にアドバイスをいただきました。

研修会の最後に、令和3、4年度の議会改革として私たち議員が取り組みたいことを具体的に書き、目標としました。

第1回 議員研修会 7月1日開催

テーマ
柴田町議会基本条例に係る
検証結果の講評と今後の課題について

講師 柴田町議会アドバイザー
佐藤 淳氏

議員間討議
経過報告

Part
3

議会として要望を提出！

柴田町議会では、(仮称)柴田町総合体育館建設に向けて、町からの計画が出されるごとに議員間討議を行ってききました。
今回は、官民連携手法における疑問点や要望事項を取りまとめました。

議会から要望書を提出

町では、平成29年度に基本計画策定、平成30年度に基本設計策定と、(仮称)総合体育館建設に向けて、町が建設運営する従来方式の準備を進めてきました。しかし、議会から、民間活力の導入を検討するよう提案があったことから、執行部では、官民連携手法による体育館建設について調査検討を始めました。2年間の調査研究を経て、令和3年度にはPPP手法可能性調査業務を開始しました。

(仮称)柴田町総合体育館建設に係る議会の動き

年月日	内容
平成29年12月12日	ワールドカフェを活用して論点整理
平成30年 1月30日	議員間討議 論点① 総合体育館建設時期、必要性について 論点② 財政は大丈夫なのか 論点③ 町民の意向について 論点④ 町民の意向を確認するために議会は何をするか
2月 8日	
9月25日	
10月20日	
令和 2年 2月 1日	令和元年度第2回議員研修会開催 ・町民を交えてのワークショップ開催
令和 3年 9月 8日	議員間討議 官民連携手法による体育館建設について 議会からの要望まとめ 体育館建設についての勉強会
9月21日	
10月11日	

そこで、議会としても体育館建設に向けて最終決定するための判断基準を検討していくことになりました。今回は9月会議体中に議員間討議を行い、疑問点を整理したほか、議会としての要望をまとめました。

PPPって？
公民が連携して公共サービスの提供を行うことだよ!! 目的は事業コストの削減や質の高い公共サービスの提供を目指すんだって!



9月8日 疑問点の洗い出し作業



- 利用方法は？
- 防災面は？
- 競争相手はいるの？
- 附帯事業は？
- ワールドカフェ

官民連携手法による体育館建設に係る説明や資料で疑問に思うこと

疑問点 (主なもの)	執行部からの回答
体育館を利用したイベントなど、有料開催できるのか。	◎附帯事業を体育館建設事業の必須要件とはしていない。
	◎予定地内で民間事業者が独自の提案をするものであり、独立採算制をとる事業も可能としている。
	◎具体的に提案があった場合、内容、運用方法など精査することになる。
PPP手法にしても競争相手はいるのか。	◎今回のPPP手法については、12社が町との対話に臨んでいる。 ※最終的に12社すべてが応募するとは限りません。
いつ完成するのか。	◎令和3年10月に民間事業者からの提案募集を開始予定。
	◎令和4年の3月議会で、従来手法又はPPP手法かを最終判断することとなる。
	◎PPP手法になった場合、令和4年度から実施設計及び建設工事に着手。

特集 (仮称)柴田町総合体育館をどう考える？

議会として
どう動く？

官民連携による体育館建設、

9月21日 まとめ作業



9月21日は、議会から要望したいことを話し合いました。

8日に出た「利用や規模」「防災」「財政」「時期」などからグループごとに話し合い、3項目ずつを出す作業をしました。



それぞれグループ内で意見を共有しました。



活発な
議論ができたね！

すべての意見が出そろったところで、各グループから出た意見をそれぞれ精査し、最終的に議会としての意見を取りまとめました。



9月22日 要望事項提出

議会からの要望事項

- 1 子どもから大人まで楽しく安全に、便利に健やかにスポーツが楽しめる施設にすること
- 2 避難所の機能を設けること
- 3 冷暖房などの空調設備を完備すること
- 4 将来の財政負担に配慮すること



高橋議長から滝口町長へ提出しました

サークル紹介

町内で活動している
サークルを紹介します



柴田町ビニールボール協会

昭和63年に仙南地区に初めて協会が発足してから34年を迎えます。

現在は10チーム、総勢100名を超える会員が所属しています。

町内大会の他、近隣の各市町の協会チームとの交流大会の開催や、各PTA大会への審判員派遣なども行い、ビニールボールが生涯スポーツとして楽しく長く続けられるよう活動しています。

各チームとも、メンバーを随時募集しており見学も大歓迎です。

興味がありましたら、相談にのることやチームの紹介も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。協会員一同、心よりお待ちしております。

ホームページ：<https://shibata-vb.com/>
メール：info@shibata-vb.com



Cielチーム代表

菊地 和秀さん (西船迫)

PTAバレーをきっかけにチームを設立して3年になります。週1回の練習ですが、メンバーと一緒に成長していくのが楽しみです。正直大人になってから、こんなに楽しくスポーツするとは思いませんでした。



柴田町ビニールボール協会 幹事

高橋 裕香さん
(船岡字七作)

この1年間はコロナ感染予防対策のためなかなか練習に行けていません。私はビニールボールを始めてから、健康促進に繋がっています。



柴田町ビニールボール協会副会長

水戸 勝徳さん
(船岡新栄)

ビニールボールは男女ともに気軽に楽しめるスポーツでもあり、人々の交流の場としても良いと思います。

発行 宮城県柴田町議会 編集 柴田町議会広報常任委員会 宮城県柴田郡柴田町船岡中央三丁目3番45号 ☎0234-5511236 印刷 伊藤印刷

編集を終えて

今号も皆さんに読んでいただけたら嬉しい。議会だよりを意識し、作成しました。感想やご意見がありましたらお気軽にお寄せください。

さて、みやぎ大菊花展が船岡城址公園で開催され、愛好家の皆さんが手塩にかけて育てた菊が見事な花を咲かせています。新型コロナウイルスの影響で心が休まらない日々が続きますが、ちょっと一息、菊の花で心に癒しを与えてみませんか。(石森 靖明)

議会広報常任委員会

委員長	加藤 滋
副委員長	平間 幸弘
委員	石森 靖明
委員	伊東 潤
委員	吉田 清
委員	小田部 峰之
委員	平間 奈緒美

柴田郡中学校新人大会 団体戦 優勝



船迫中学校
剣道部

12月会議の予定

12月会議は **12月6日**(月) 午前9時30分開会予定
槻木生涯学習センターで開催します。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程は流動的です。
詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会ネット中継

議会生中継・録画放映を二次元コードから見るができます。



柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより174号は、約16,450部作成しています。1部当たりの経費は約47.1円です。